

2021年1月12日

株式会社高島屋

第31回(2020年度)タカシマヤ文化基金 受賞者・助成先決定

2020年11月24日に行われた公益信託タカシマヤ文化基金運営委員会において、第31回(2020年度)タカシマヤ美術賞の受賞者および助成団体が下記のとおり決定いたしました。

■ タカシマヤ美術賞（助成金 各200万円）：3名

- 中谷 ミチコ（なかたに・みちこ）さん〈彫刻〉
- 五味 謙二（ごみ・けんじ）さん〈陶芸〉
- 山城 知佳子（やましろ・ちかこ）さん〈映像〉

■ 団体助成（助成金 2団体で200万円）：2団体

- 埼玉県立近代美術館（所在地：埼玉県さいたま市）
- 川崎市市民ミュージアム（所在地：神奈川県川崎市）

タカシマヤ文化基金について

高島屋は、1909年に広く一般の方に美術品を紹介する「現代名家百幅画会」を開催、1911年に美術部を創設するなど、人々の暮らしの中に美と文化を提供し続けてきました。そのような歴史と伝統のもと、1990年に公益信託タカシマヤ文化基金を設立、新鋭作家や美術文化の保存・発掘・振興に寄与する団体などへの助成を行っています。基金は専門家からなる運営委員会によって運営され、高島屋はオブザーバーとしての役割を担っています。

新鋭作家に対する賞（タカシマヤ美術賞）は、1作品への賞ではなく、その作家のこれまでの活動と将来性から選考するものとなっています。毎年、「タカシマヤ美術賞」として作家には一人200万円、団体に対しては各回総額200万円を上限とした助成を行っております。

第1回～第5回は「新鋭作家奨励賞」、第6回以降は「タカシマヤ美術賞」として昨年度30回を迎え、これまでの受賞作家は82作家、助成団体はのべ65団体に達しました。

※1月末に予定しておりました贈呈式は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とさせていただきます。

■タカシマヤ美術賞（助成金 各 200 万円）

○中谷 ミチコ（なかにに・みちこ）さん〈彫刻〉

◆大学卒業後ドイツで学び、現在は三重を拠点に、粘土原型の雌型に透明樹脂を流し込む手法で、立体と平面、存在と不在を行来する作品を制作。

1981 年東京都生まれ。2005 年多摩美術大学美術学部彫刻学科卒業、2014 年ドレスデン造形芸術大学マイスターシューラーstudium修了。2019 年～ 多摩美術大学彫刻学科講師。

現在、東京、三重を拠点に活動。

【主な展覧会・受賞歴】

2019 年 「その小さな宇宙に立つ人」三重県立美術館柳原義達記念館

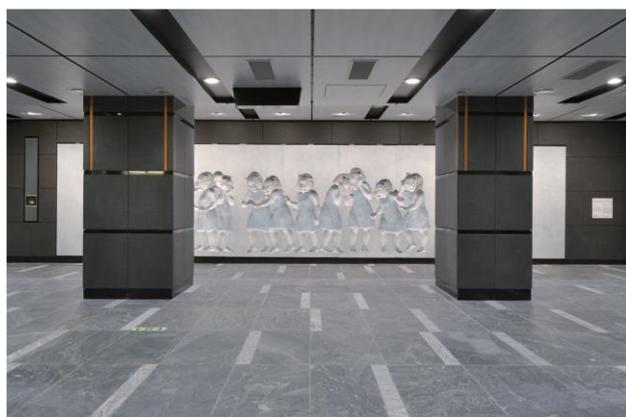
2012 - 2014 年 新進芸術家海外研修制度（ドイツ・ドレスデン）

2011 年 「境界線のありか」横浜美術館アートギャラリー1（神奈川）

2010 年 VOCA 展 奨励賞



©Adam Dreesen



左・右とも：「白い虎が見ている」2020 年 写真提供：株式会社織絵

○五味 謙二（ごみ・けんじ）さん〈陶芸〉

◆沖縄県那覇市壺屋焼の製陶所で修業、現在は茨城を拠点に独特の質感を持つ、陶による造形作品を軸に制作。

1978 年長野県茅野市生まれ。2001 年早稲田大学人間科学部卒業、沖縄県那覇市壺屋にて修業。2004 年岐阜県土岐市にて制作開始、2015 年茨城県笠間市にて制作開始、現在、茨城県立笠間陶芸大学校特命教授。

【主な展覧会・受賞歴】

2019 年 第 25 回日本陶芸展 大賞・桂宮賜杯

「土と抽象 - 記憶が形に生まれるとき -」

益子陶芸美術館（栃木）

2014 年 第 10 回国際陶磁器展美濃 陶芸部門グランプリ

2013 年 第 5 回菊池ビエンナーレ 優秀賞





左：shi-tou「シサ」
右：shi-tou「ネル」
いずれも、
2019年
写真提供：
益子陶芸美術館

○山城 知佳子（やましろ・ちかこ）さん〈映像〉

◆沖縄を拠点に写真、映像、パフォーマンス、インスタレーションなどの手法で米軍基地や戦争など沖縄における様々な問題を表現。

1976年沖縄県生まれ。1999年沖縄県立芸術大学美術工芸学部美術学科絵画専攻（油画）卒業、2000年サリー州アート・アンド・デザイン大学（現UCA芸術大学、イギリス）美術学科留学、2002年沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科環境造形専攻修了。

【主な展覧会・映画祭・受賞歴】

2019年 グループ展「話しているのは誰？現代美術に潜む文学」
国立新美術館（東京）

2018年 第64回オーバーハウゼン国際短編映画祭 ゾンタ賞
（オーバーハウゼン/ドイツ）

2016年 「あいちトリエンナーレ2016」 旧明治屋栄ビル（愛知）

2012-13年 「森美術館MAMプロジェクト018:山城知佳子個展」森美術館（東京）



©Ryudai Takano



左・右とも：「チンピン・ウェスタン 家族の表象」2019年

©Chikako Yamashiro, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

■団体助成（助成金 2 団体で 200 万円）

○埼玉県立近代美術館

（所在地：埼玉県さいたま市）

助成内容

「関根伸夫に関する資料の保存環境整備と公開にむけた活動」



埼玉県立近代美術館は 1982 年 11 月に開館し、国内外の優れた美術作品を収集、展示するとともに、ユニークで密度の高い企画展を開催しています。

当館では、2015 年から、近年国際的にも注目を集めている「もの派」を代表する美術家である関根伸夫について、当館がお預かりしている資料の調査・整理を進めています。今後、この活動をさらに継続するとともに、一般への公開や研究利用を行える環境整備にむけた活動を行っていきます。具体的には、①資料を保存するための環境整備、②資料を広く公開するための調査・整理、等の活動に助成金を活用していきます。

（埼玉県立近代美術館）

○川崎市市民ミュージアム

（所在地：神奈川県川崎市）

助成内容

「被災収蔵品レスキューの記録と公開」



川崎市市民ミュージアムは、1988 年 11 月に「都市と人間」という基本テーマを掲げて開館した博物館と美術館の複合文化施設です。

当館では 2019 年 10 月 12 日に令和元年東日本台風により、収蔵庫全てが浸水し、収蔵品約 23 万点が被災する甚大な被害が発生しました。現在、修復作業を続けていますが、被災からこれまでの一連のレスキュー活動を映像や文章で記録としてまとめ、当館ホームページで公開し、美術界における自然災害対応への一助とするとともに、社会に対し文化財の保護・修復への理解を深める機会にしていきたいと思います。具体的には、①修復を施した作品の紹介、②レスキュー活動をまとめた映像の制作、③報告書の作成、等の活動に助成金を活用していきます。

（川崎市市民ミュージアム）

以 上